事業名：歴史文化を活用した観光交流促進拠点整備事業
（担当課：社会教育課）

<table>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">市史料館の既存施設の改修・模様替えを行い、展示物や地域の歴史文化資源についてデジタル技術を活用して情報発信するとともに、市内周遊の拠点として、周遊アプリの運用や問合せへのワンストップ対応を行う拠点として整備する。</td></tr>
<tr><td>実施年度</td><td colspan="2">令和６年度</td></tr>
<tr><td>事業費</td><td colspan="2">24,980,236 円（令和６年度事業費）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ＫＰＩ</td><td>①地域における観光消費額
【事業開始前】 2,170,000 千円
【Ｒ７増加目標】1,200,000 千円
【Ｒ７増加実績】3,248,102 千円
【達成度】 271％
【要因分析】
拠点整備や大河ドラマの効果に加え、道の駅「そらっと牧之原」が開業し、相乗効果で観光交流客数や消費単価が増加したため。</td><td>②市史料館の事業収入
【事業開始前】 620 千円
【Ｒ７増加目標】 2,010 千円
【Ｒ７増加実績】 2,000 千円
【達成度】 100％
【要因分析】
田沼意次侯や牧之原市への注目度が向上し、入館者数が前年度の約４倍（事業前の約 23 倍）となり、入館料や関連書籍の売上も増加したため。</td></tr>
<tr><td>③市史料館の入館者数
【事業開始前】 2,200 人
【Ｒ７増加目標】 21,000 人
【Ｒ７増加実績】 35,318 人
【達成度】 168％
【要因分析】
大河ドラマ展の定期的な入れ替えを実施する一方、ドラマ展開を意識して情報発信を行ったため。特に上半期の集客が好調だった。</td><td>④市史料館と連動したイベント数
【事業開始前】 ０件
【Ｒ７増加目標】 ５件
【Ｒ７増加実績】 ９件
【達成度】 180％
【要因分析】
デジタルスタンプラリーやトークショー、プロジェクションマッピング、市の産業祭、平田寺でのマルシェなど、常に連動を意識して進めたため。</td></tr>
<tr><td>備　考</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>